

供給トラック大解剖！

～MOGMOG編集委員が取材しました～



時崎さおりさんの一日

午前 6:45 体操、朝礼ミーティング
7:00 トラックへの搬入開始
8:20 センターを出発
午後 3:30ころ 供給終了

この仕事を始めて7年になります。最初慣れないうちは十分腰を落とさずに作業していたので腰痛に悩まされました。今は毎日浴槽に浸かって温まり、ストレッチは欠かせないようにしています。供給ではマイボトルに麦茶を詰めて十分な水分補給を心掛けています。

渡邊直豊職員の一



時崎さんと
同じ職場で働く
渡邊直豊 職員

午前 9:00 体操、朝礼ミーティング
9:15 トラックへの搬入開始
10:00 センターを出発
午後 4:30ころ 供給終了

トラックへの積み込み方法は、マニュアルを基本に供給担当者が多少のアレンジを加えています。私は「師匠」に習ったやり方を引き継いでいます(笑)。供給のときに一番大切にしているのは品温管理です。冷蔵品、青果品は、温度変化を防ぐために、しっかりと凍結した蓄冷材を用意して対応しています。冷凍品は、暑い日はドライアイス余分に入れて冷凍品が溶けないように工夫をしています。

こちらからも
ご覧いただけます。



「供給担当者の
お仕事」



「トラック」部の
徹底解剖

配達先ごとに届ける品を確認しての
細やかなセット作業、
特に「卵が割れないよう」に
「野菜は葉物が上になるよう」
細心の注意を払ってのようです。
しゃがんでの作業が大変そう！

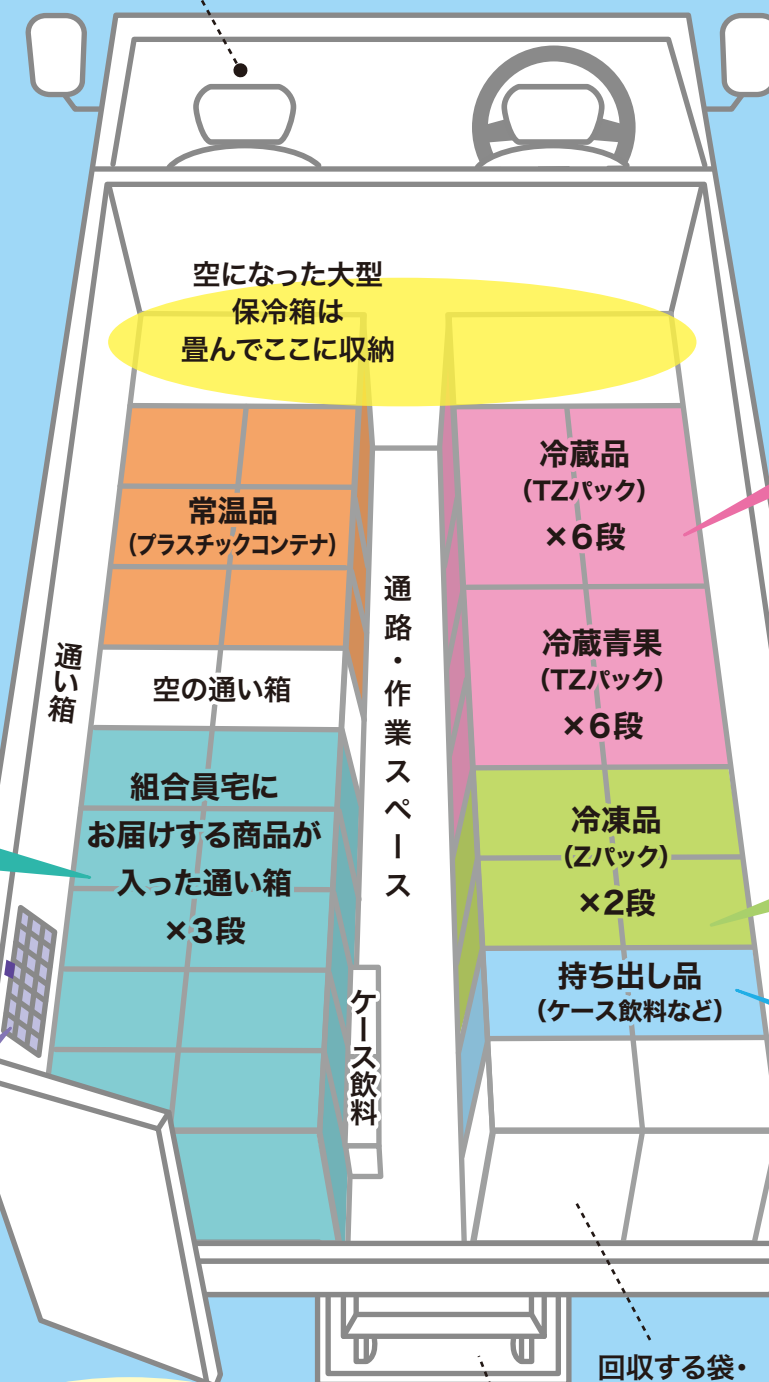


TZパック、Zパックから
シッパに移す作業の大半
は、荷台の中で行います。



配達先ごとに「単品持ち出し
表」で配達漏れが無いように
確認。

助手席には注文書・商品案内
(1日約60件分)が入った箱



配達完了したら、
スマホでチェック、送信！

メールを登録されている方に
「配達完了のお知らせ」が届きます。

※とうとうネットでのメール設定が
必要です。

毎週届く東都生協の商品。

供給トラックの中はどのようになっているのでしょうか。
草加要冷セットセンターから国立センターに届いた商品が、
供給トラックに職員の手で積み込まれていく様子を
密着取材させていただきました。

前後にドライブレコーダーを装備

東都生協では1日当たり約400台の車両
が稼働。全車の前後にドライブレコー
ダーを設置し、事故の未然防止・交通法
規の遵守に役立て、地域の皆さまの迷
惑にならない運転を心掛けています。



草加要冷セットセンターで配達順にセット
されてきたTZパックを積み込み。



冷蔵品が入った大型保冷箱「TZ
パック」をセンターの冷蔵庫から取
り出し、荷台の右側へ積み込み。

取材
メモ

供給担当者が
自分たちで積み込み?!
機械で運び込んでいるのだと
思っていたので驚きました。
しかもどれもかなり重い！

右側の前より冷蔵品、冷
凍品、持ち出し品の順に
積み込み。



冷凍品の大型保冷箱「Zパック」



全てのTZパックの横ポケットには
蓄冷材がセットされ、保冷効果を高
めています。



重い物を
自宅まで運んでもらえるから
生協の供給はほんとに助かるけど、
担当者の力仕事による
ものなのですね。

取材
メモ



「未来につなぐ募金」は、組合員から集まった募金を東都生協の商品に換えて、「子ども食堂」や「フードパントリー」などを行っている団体を支援するかたちを取っています。次回の注文から、優しさのお裾分け、始めませんか。

商品の注文と一緒に支援できます

募金方法は、注文書の**特別企画欄**に【365920】と記入し、**数量欄**に口数を記入します。
1口200円です。Web注文サイト「とうとねっ」と、電話注文でも募金ができます。

特別企画欄	1口 200円
数量欄	3 6 5 9 2 0

団体名 近所のおじちゃん・おばちゃんクラブ

設立 2015年6月 代表者 能登山 明美さん 活動拠点 杉並区
活動内容 子ども食堂(西荻寺子屋食堂)
メンバー スタッフ・ボランティア30人
ボランティアの受け入れ あり
広報ツール SNS、チラシ、口頭など

本日のメニュー
シーフードピラフ、
ミネストローネ、
サラダ 他



準備は着々と



うにはいかないものの、楽しい食堂とフードパントリーの形を維持しています。

一番うれしいことは、この食堂に中学生の頃から通っていた青年が小学校の先生となり、今では頼もしいスタッフの一員になってくれたこと。この日も小さい子どもたちから「お兄ちゃん好き」と慕われ大人気。青年も「ここでの経験が今の自分を育ててくれた」と胸を張って応えてくれました。

若いママには「子育てに疲れた時には話をしにいらっしゃい」と、それがこの食堂の良さ。

そして「たくさんの人に支えてもらい、また東都生協からも物資の提供を受け感謝しています」とも。

「次も待っているからね」というスタッフの言葉に温かさ、優しさを実感する瞬間でした。

column

「予備野菜」、活用しています!



まだ子ども食堂という言葉が聞きなれない時代から、代表の能登山さんは「何か子どもたちに支援できることはないか」を模索していたといいます。

杉並区の主任児童委員をしていた時、子どもを取り巻く環境の厳しさを知り、任期を終えた直後から行動に移します。当時は仲間を募っても手が足らず、そんな時に福祉活動に理解ある今の会場を提供してくださるオーナーに巡り合いました。徐々に仲間や大学生のボランティアが増え、軌道に乗り始めた時にコロナ禍…本来中高生を中心に一緒に調理し、一緒に食べる、いろいろな世代の中でコミュニケーションできる居場所としていただけにショックは大きいものでした。今は子どもたちも集まりはじめ、以前のよ

助成団体紹介
Vol. 35

これからも子どもたちにとって居心地のいい場所であり続けたい…



前列左が能登山さん

産地直結の野菜は、組合員の皆さんの手元にお届けする前に埼玉県草加市の草加要冷蔵センターで検品。重量を計り、丁寧に袋詰めしています。出荷基準に合わない野菜が多く出てしまった場合に備えて「予備野菜」を毎日産地から仕入れています。セットに使わなかった予備野菜が一定数出てきます。これらを「何かに活用できないか」と考えたのが始まりです。現在、子ども食堂・フードパントリーなど地域で活動している29団体に、近隣の供給センターに取りに来ていただく形で提供しています。

地域の団体の皆さんからは「新鮮な野菜を提供していただき助かります」と大好評。「もったいない」を地域の皆さんと分かち合える有意義な取り組みになっています。

冷凍品はしっかり保冷してお届けします



内袋をセットした保冷箱に商品とドライアイスを入れて



断熱性のある銀色の内ぶたで上からもガード



プラスチックコンテナは水濡れ防止のため、一番上に置きます



留守班へはセーフティカバーをかける

ドライアイスと銀色の内袋、銀色の内ぶた「PEライト」で外の熱気の影響を受けにくくしてお届けします。銀色の内袋とPEライトで冷気を閉じ込めるため、ドライアイスと併せて冷凍品が長持ちする仕組みになっています。

ポリ袋の回収も忘れずに!

商品お届け用ポリ袋
商品案内の個別包装ポリ袋



回収対象

- ①商品案内の個別包装のポリ袋
- ②冷凍品、冷蔵品、青果品のポリ袋(持ち手が付いていません)

返却方法

ラベルは付いたまま返却できます。①②は同じ材質ですので分別不要。まとめて返却できます。

パンお届け用ポリ袋



返却方法

持ち手が付いているポリ袋のラベルは紙製です。混入するとリサイクルできなくなってしまうため、ラベルを切り取って(ちぎって)返却してください。ご協力をお願いします。左記①②のポリ袋とまとめて返却できます。

ラベルを切り取り返却

供給トラックの内側紹介、いかがでしたか。雨の日も風の日も、灼熱の太陽が照りつける日も、変わらず商品が届くこと。取材の日も大雨の中、時間通りの配達を目指す姿に、供給担当者の努力が伝わってきました。

保冷箱、プラスチックコンテナなどの通い箱や資材は組

合員が皆で使う物、組合員の財産です。

保冷箱を乾かして返却することや、商品案内や商品お届け用ポリ袋をはじめとしたリユース・リサイクル品の返却など、私たちにできる「小さな協力」を、みんなで広げていきましょう。

8月号特集 供給トラック大解剖!



回収したお届け用保冷箱「シッパバー」は、職員が丁寧に拭いて他の組合員の供給に利用しているそうです。雨風に当たらないところ(できれば室内)で保管し、すぐ使えるように返してあげたいですね。

取材メモ

組合員が協力できること

- 1 不在にするときはセーフティカバーを出しておく。
- 2 商品の置き場所は、直射日光が当たらない場所を指定する。
※センターから変更のお願いをする場合があります
- 3 保冷箱、銀色の内袋・内ぶた、蓄冷材は、濡れていたら乾かして返却する。

こんな風にまとめておくと回収がスムーズ



- ・銀色の内袋を抜き、折り畳む。
- ・保冷箱に結露が残っていたら捨てる。
- ・ふた、内ぶた、蓄冷材と一緒に保管。

ポリ袋の回収率はまだ
28.9%

回収した袋はリサイクルすることで袋類の原料に生まれ変わります。小さな行動の積み重ねが資源循環につながります。